

# THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

## The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1<sup>st</sup> January 2016 and 6<sup>th</sup> November 2016)

この一カ月の間に世界各地で熱戦が繰り広げられてきたが、その結果、第9回ロンジンワールドベストレースホースランキングの上位の順位に大きな変動があった。その筆頭がアロゲート【134】で、ブリーダーズカップクラシック(G1)においてカリフォルニアクローム【133】を見事に降し、ランキングトップとなった。

### LONGINES World's Best Racehorse Rankings

#### Leading Horses

Rank	Horse	Rating	Trained
1	ARROGATE (USA)	134	USA
2	CALIFORNIA CHROME (USA)	133	USA
3	WINX (AUS)	130	AUS
4	ALMANZOR (FR)	129	FR
4	A SHIN HIKARI (JPN)	129	JPN
6	FROSTED (USA)	126	USA
7	MAURICE (JPN)	124	JPN
7	POSTPONED (IRE)	124	GB
7	WERTHER (NZ)	124	HK

ブリーダーズカップクラシックでは、逃げ切りを図るカリフォルニアクロームを、アロゲートがゴール手前で捉え、半馬身差で制した。上位7頭までがG1競走優勝馬であったが、上位2頭は3着のキーンアイスに10馬身3/4差をつけた。この勝利により、アロゲートはレーティングを129ポンドから134ポンドとした。

3歳のアロゲートは今年4月にデビューし、これが重賞2走目であった。同馬はブリーダーズカップクラシックを制する前には、トラヴァーズステークス(G1)も勝っていた。このレースでは37年ぶりにコースレコードを更新するとともに、13馬身半差の大差で制する歴史的勝利を収めた。

カリフォルニアクロームはブリーダーズカップクラシックで敗れる前には、ドバイワールドカップ(G1)、オーサムアゲインステークス(G1)、パシフィッククラシックステークス(G1)、サンディエゴハンデ(G2)、サンパスカステークス(G2)、それにトランスガルフエレクトロメカニカルトロフィーの6戦全てを制していた。

オーストラリアでは、コックスプレート(G1)を連覇したウインクス【130】がレーティングを127ポンドから130ポンドに上げ、ランキング第3位となった。牝馬トップの同馬は、今年のコックスプレートではハートネル【123】にレコードとなる8馬身差をつけ、制している。

芝及び牝馬のレーティングトップであるウインクスは今年8戦全勝で、昨年5月以降、13連勝中である。同馬は今年、コーフィールドステークス(G1)、コルゲートオプティックホワイトステークス(G1)、ドンカスターマイル(G1)、ジョージライダーステークス(G1)、チップングノートンステークス(G1)などを制している。

イギリスでは、アルマンゾル【129】が英チャンピオンステークス(G1)も勝利し、レーティングを127ポンドから129ポンドに上げ、能力の高さを示し続けている。このレースではファウンド【123】が2着、ジャックホブス【121】が3着であった。

アルマンゾルは、6月の仏ダービー(G1)でG1初勝利を挙げるなど、ここまで5連勝中である。同馬は英チャンピオンステークスの前には、愛チャンピオンステークス(G1)も制していた。ファウンドは愛チャンピオンス

テークスでも2着であったが、英チャンピオンステークスとの間には凱旋門賞(G1)を制している。

ファウンドは好メンバーの揃ったブリーダーズカップターフ(G1)では3着であった。同競走ではハイランドリール【123】がフロントシャー【123】を1馬身3/4差で降している。

他にも、ブリーダーズカップディスタフ(G1)では、ビホルダー【123】がソングバード【123】を激戦の末、ハナ差で降している。これは同馬にとってブリーダーズカップ競走の3勝目で、引退の花道を飾った。

また、2016年の欧州年度代表馬に選出されたばかりのマインディング【121】は、クイーンエリザベス二世ステークス(G1)ではリブチェスター【122】やライトニングスピア【120】を降し、今シーズン最終戦を勝利で飾った。

日本では、モーリス【124】が天皇賞(秋)(G1)でドバイターフ(G1)優勝馬リアルスティール【120】を1馬身半差で降し、3戦ぶりに勝利を手にした。

この他に、クールモアスタッドステークス(G1)を制したフライングアーティーター【120】や、英チャンピオンズフィリーズ&メアズステークス(G1)を制したジャーニー【120】、ブリーダーズカップダートマイル(G1)を制したタマークズ【120】、それにブリーダーズカップマイル(G1)でデピン【121】を半馬身差で降したツーリスト【120】が新たにランクインしている。

2016年の年間ランキングは、来年1月のロンジンワールドベストレースホース表彰式にて発表となる。